

鎌倉文学館指定管理業務 実績評価（令和2年(2020年)度第2四半期）

1 利用の承認等に関する業務

(1) 来館者数の動向

7月から9月までの来館者数は6,310人で、昨年の第2四半期より10,107人、約61.6%の減となった。

(2) 分析

7月からの開催予定であった夏の特別展「とよたかずひこの世界」が子どもへの新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となったことや、6月の再開館時から引続き感染拡大防止に伴う外出控えがあったことが来場者の減少に大きく影響していると思われる。しかしながら、当初4月から開催予定であった特別展「井上ひさし、鎌倉の日々」の会期を延長した他、特別展「小津安二郎」では川喜多映画記念館と入館料の相互割引を行う等、他施設とも連携をとり運営を行っていた。

2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務

(1) 施設・設備

設備機器の保守点検について計画どおり行われた。

(2) 文学館資料

ア 収蔵庫内の温湿度管理が適切に行われている。

イ 文学館資料の特別利用について適切な事務処理によって行われている。(3件)

3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務

(1) 展覧会

6月の再開館後からは事業計画を変更し、展覧会の期間延長等の対応を行いながら特別展及び常設展を開催した。

ア 特別展「井上ひさし、鎌倉の日々」(4月18日～7月5日開催予定分を、6月9日～8月23日に会期変更)

イ 特別展「小津安二郎」(特別展「かこさとしの世界」7月11日～9月22日開催予定を中止し、8月29日～9月22日開催)

ウ 常設展「鎌倉ゆかりの文学」

エ ミニ特集「生誕130年 日夏耿之介」(4月18日～7月5日開催予定分を、6月9日～8月23日、8月29日～9月22日に会期変更)

(2) 普及事業

ア 「鎌倉ゆかりの文学」上映やギャラリートークを、感染拡大防止の観点から中止とした。

イ 「声のライブラリー『井上ひさし 父と暮らせば』」を感染拡大防止のため定員数を減らして、7・8月に実施した。

ウ 参加型の講座及び講演会を、感染拡大防止のため8月20日から9月30日までの期間動画配信により実施した。

(3) その他文学の振興及び文学館の設置目的を達成するために必要な業務

ア 「井上ひさし展2020 スタンプラリー」に参加した。(6月9日～9月22日)

イ 例年人気の高い「長谷の灯かり2020」の夜間ライトアップに伴う夜間開館は、感染拡大防止のため中止となった。

ウ 吉屋信子記念館の展示協力を実施した。

4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務

(1) 収蔵品の適切な保存、整理ができています。(書類による確認)

(2) 資料の補修を適宜実施した。

5 その他市長が定める業務

(1) 文学館資料の調査及び研究

7月

- ・ 特別展及び常設展示にかかる調査研究や図録作成
- ・ 新規購入資料(図書)の選定・受入れ
- ・ 広津柳浪短冊等、新規購入資料の調査研究

8月

- ・ 特別展及び常設展示にかかる調査研究や図録作成
- ・ 新規購入資料(図書及び筆跡類)の選定や受入れ、検討
- ・ 学芸員実習受入れにかかる調査研究
- ・ 「鎌倉逍遥」掲載原稿執筆にかかる調査研究

9月

- ・ 特別展及び常設展示にかかる調査研究や図録作成
- ・ 新規購入資料(図書及び筆跡類)の選定や受入れ、検討
- ・ 収蔵庫燻蒸にかかる資料整理
- ・ 吉屋信子記念館展示協力にかかる調査研究

(2) 事務処理

ア 例月の指定管理業務報告書等が期日までに提出された。

(7月分:8月14日、8月分:9月11日、9月分:10月14日)

イ 展示替えに伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。

ウ 市広報に展覧会や関連イベントの情報を掲載し、市民への周知を行った。

(3) その他

ア 教育普及活動、社会貢献活動として、学芸員実習を受入れた。

イ SNSを活用し、タイムリーな情報の発信を行った。

ウ メディア対応を積極的に行った。

エ 近隣保育園の受入れを行った。

6 全体評価

(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い事業計画変更を行い、夏休み期間中に実施予定であった子ども向け展覧会である特別展「とよたかずひこの世界」を中止としたが、6月の再開館から引続き、特別展「井上ひさし、鎌倉の日々」を開催し、続いて特別展「小津安二郎」を開催した。文学講演会等は感染拡大防止のため、新たな取組みとして期間限定で動画配信により実施した。今後も、観覧者の興味・関心を集める展示の他、動画配信のよう

な新たな取組みを引続き積極的に行ってほしい。

- (2) 第2四半期の来館者数(6,310人)は、前指定管理期間の平均値(15,236人)と比較すると約58.6%減少した。令和元年度(16,417人)と比較すると約61.6%減少しており、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開館時間の短縮や事業計画の変更を行った他、普及活動も制限されていたことが原因として挙げられると考える。
- (3) SNSを活用し、随時情報発信することで来館者のニーズに応えることができていたが、より効果的な広報、情報発信について工夫をし、今後も続けられたい。
- (4) 施設・設備管理について、事業計画に基づき適切に行われている。施設、設備ともに老朽化が進む中、日頃から適宜点検に努め、重大な事態を未然に防いでいる。今後も修繕箇所を予め把握し優先順位をつけて修繕を行っていくよう留意されたい。

鎌倉文学館 令和2年度 第2四半期 判定評価

評価項目	配点	第2四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定管理期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
特別利用			
資料に悪影響が出ないよう適正な承認を行っているか	10	○	
2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
文学館資料の維持管理			
収蔵品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、収蔵品が適切に取り扱われているか	5	○	
3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務			
展覧会			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
普及事業			
計画どおりに普及事業が行われているか	5	○	
文学館資料の調査及び研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
調査・研究の成果を市民等に公開されているか	5	○	
その他必要な業務			
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務			
収集、保存、整理			
文学館の趣旨にあった資料の購入ができているか	5	○	
寄贈・寄託の手続きが適切に行われているか	5	○	
劣化した資料の修繕や補修が行われているか	5	○	
基準に沿った資料整理が行われているか	5	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告がなされているか	5	○	
その他			
適切に収蔵品管理システムが運用されているか	5	○	
備品や文学案内板等の管理が適切になされているか	5	○	
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0

実施されている場合・○ 実施されていない場合・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%